



特集

地域の環

Community welfare cycle

P12
家庭で備える
地震対策

P16
男女共同参画啓発
コンサート

地域の繋がりによって生まれる笑顔。この笑顔になれる地域の繋がりが、高齢化による課題を解決するきっかけになるかもしれません。

日常のお困りごとを助ける

日常生活の中で、「自分でこみを集積所まで持っていく」「腰を痛めて、台所に立てない」「洗濯や掃除が滞っている」そんな取るに足らないかもしれないけれど、生活に直結した各家庭のお困りごとを手伝い助け合うボランティアグループが町内各地区で発足しています。ボランティアグループは「住民参加型在宅福祉サービス」と総称しますが各地区でグループ名が異なり、それぞれで活動しています。2022年7月に菰野東地区に「くらしサポート愛の手」が発足し、町内のほとんどの地域で困っている方に対してサポーターを派遣できるようになりました。



令和4年7月に開催されたくらしサポート愛の手発足式

日常生活の中にある
何気ない困りごと
そんな些細なことでも
お手伝いで支える



**対象は高齢者だけじゃない
頼りになる地域の**



EXAMPLE 01
ケガをして動けず、買い物などに行けない



EXAMPLE 02
身内が近くにおらず、子育てで時間がない



INFORMATION 02

地域で助け合う皆さんを支援

地域で助け合う住民参加型福祉サービスは地域のニーズから生まれてきたものですが、年々利用者が増えてきています。そのため、5つの各小学校区単位で計画的に発足を進めてきました。事務局である社会福祉協議会では、サポートを行う皆さんのため、生活支援コーディネーターが研修やアドバイスをに行って支援しています。



サポーターの声
Supporter's voice
菰野町社会福祉協議会
ひらいみづる
会長 平井 満さん

特集

地域の環

Community welfare cycle

少子高齢化がもたらすさまざまな課題
そんな課題を解決する足がかりになる方法とは
【地域を支える力が「環」となり、循環する】
これが、今後のこのまちを支える大きな力となるかもしれません



菰野町が直面する高齢化の波

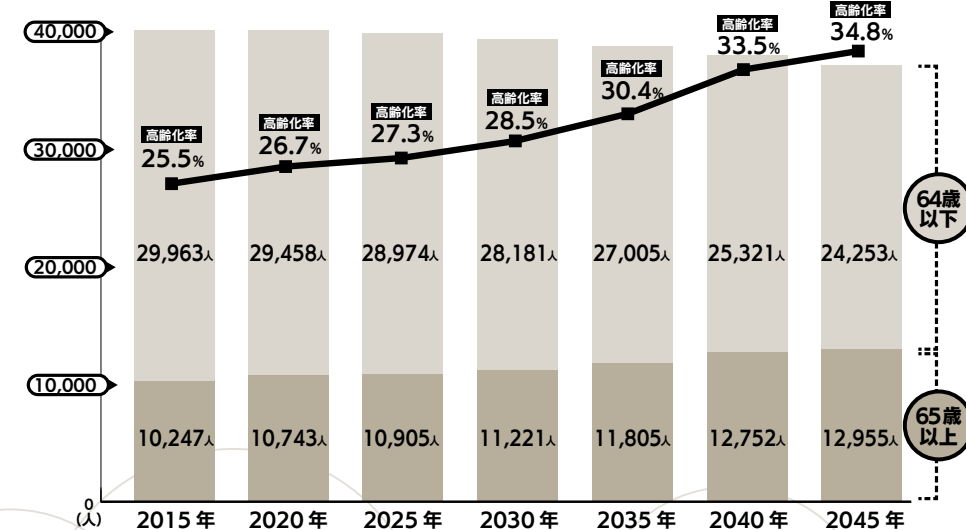
野町では、2018年を境に人口減少が始まっており、65歳未満の人口が減少傾向にある一方、65歳以上の高齢者人口は年々増加しています。2015年は町内の65歳以上の方が10,247人で高齢化率は25.5%でしたが、2045年には65歳以上の方が12,955人、高齢化率は34.8%になる見込みです。

人口減少社会となり、少子高齢化社会のさまざまな問題に直面している現代の日本。菰野町においても、その影響は例外ではありません。これから「団塊の世代」が75歳を迎える「2025年問題」などで、さらに高齢化に拍車がかかることが予想されます。そのような状況の中、私たちは何ができ、何に取り組みたいのでしょうか。そんな身近な問題に、一石を投じることができ、生み出す力について、今月号では取り上げてみます。

地域で高齢化に対処する

菰野町の高齢化率と人口の推移

2018年3月時点での推計



出典 国立社会保障・人口問題研究所

何歳からが高齢者？

高齢者の定義



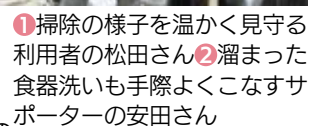
日本を含む多くの国では高齢者を暦年齢で65歳以上と定義しています。日本の総人口に占める65歳以上の方の割合は28.4%※です。

※2019年10月1日時点

INFORMATION 01

[illegible]

※サポーター数は、2022年8月26日現在。
※買い物代行等の場合、ガソリン代が実費でかかります。



age

私たちは、まだ発足して間もないですが、これからは月に1回の研修会を開催し、サポーター同士で情報共有を図りながら経験を積んでいきたいと思っています。登録しているサポーターの中には、調理経験者やデイサービス施設に務めていた方などもあるので、それぞれの得意な分野で技術を生かしながら活動を進めていきたいと考えています。お困りことがあったらぜひご利用ください。



受けるサービスの内容は自由

民参加型在宅福祉サービスの

地域の環
Community welfare cycle

手助けを必要としているのに
誰も手助けできない部分
——
そんな空白を埋める「地域の環」
そこにある人と人との繋がり



① サポーターの安田さんの作業をほぼ笑みながら眺める松田さん② 依頼内容が終了するとお互いに名残惜しいが「またね」と挨拶する

利用者への唯一無二のサービス

サービスの内容が決まっていな

いからこそ、住民参加型在宅福祉サービスには日々、さまざまな依頼が舞い込みます。そのため、サポーターの皆さんは「地域サポーター養成講座」を受講し、利用者の依頼に応じて、対応する人数やサ



▲ サポーターとして必要なさまざまな知識を学ぶ地域サポーター養成講座

の皆さんは頭を悩ませることも多いと言います。「スマートフォンを使い方がわからないから教えてほし

い」「メダカの水槽の水を入れ替えて」「バイク事故に遭って動けないから湿布を貼りに来て」本当に予想だにしない依頼の連続です。しかし、サポーターの皆さんは試行錯誤しながら利用者の要望に応えられるよう精一杯努めています。全ては、周囲の手を借りられない利用者のため——そこには本当に助けが必要な人のためのきめ細かなオーダーメイドとも言えるサービスが実現されていました。



▲ 依頼内容を終えるとチケットを預かり、次回の予定を調整します。依頼の成果にサポーターも利用者も一息つける瞬間です

ただお手伝いをするだけじゃない サポーターの私たちにとって この活動が楽しく、そして勉強になる

● 利用者の声
User's voice
みやざきとくこ
宮崎徳子さん
(鈴鹿台区)



age 81

定年後に菰野町へ移住してきましたが、夫を亡くしてからは一人暮らしで、日中は仕事もあるため庭の草取りや掃除など自分だけでは手に負えない部分が多くありました。友達などにも頼めず困っていましたが、このサービスをごみ集積所に設置された看板で見え利用してみました。毎回、丁寧に手伝ってもらえて大変助かっており、これからもこのサービスを利用したいと思っています。

● サポーターの声
Supporter's voice
いいね！大羽根
代表



やすだ じゅんこ
安田順子さん

私たち一人ひとりができることは限られているので、組織の中で助け合いながら自分自身も無理をせず、空き時間に少しの時間でお手伝いできることをと思って活動しています。この活動をしていることで私たち自身も勉強になることが多く、楽しく感じます。ゆくゆくは自分たちもこのサービスを利用する立場になると思うので、そのためにも存続させていかなければと思って活動を続けていきます。



③ 庭の除草作業の依頼で利用者の宮崎さんと相談しながら除去方法などを提案するサポーターの黒田さん④ 大量の雑草を処理するサポーターの伊藤さん

● サポーターの声
Supporter's voice
朝上ささえ愛
代表



くろだ とよひろ
黒田豊廣さん

この活動の前から地域の皆さんから要望をいろいろと受けていましたが、やってあげたくてもやってあげられないことが多く、歯がゆい思いをしていました。そんなとき「朝上ささえ愛」立ち上げの話があり、ぜひやりたいと思って参加しました。わずかに謝礼はいただきますが、この活動はまさしくボランティアと言え、利用者からの「ありがとう」の言葉にやりがいを感じ、活動を続けています。

自身も利用するときがくる

グループが窓口として公表し

ない日はほとんどないと言います。それだけ頼りにされているサポーターの皆さんですが、サポーターの

皆さんにも自身の生活があります。住民参加型在宅福祉サービスは生活の中でできた少しの時間を活用して、利用者の元へ向かえるものの、活動が負担となる部分があることも否定はできません。ただ、サポーターの皆さんが共通して感じていることは、この活動は単なるお手伝いでは

なく、やりがいを感じて依頼を受け、活動を通して自身の勉強にも繋がっている、ということ。サポーターの皆さんの年齢はさまざまですが、決して働き盛りではなく、定年を迎えても何か活動をしたと思った方がほとんどです。そんな皆さんがサポートに行われていた地域での支

え合いを復活させたい、そして年齢を重ねたとき、いつかはこのサービスを自分も利用できるようにしたいという思いを胸に活動を継続されています。そこには「地域の環」が生み出す次の世代へとサービスを繋げていく大きなエネルギーの循環があるように感じられてなりません。

長く健康でいるために 健康寿命が大事



高齢化率が高まる現在、誰かの手を借りることなく、自立して日常生活を送ることができる「健康寿命」を延ばすことが重要視されています。町では、地域の方々がトレーナーや講師となって健康寿命を延ばすための各種教室を開催しています。

▶CHECK 01 介護予防運動教室

健康運動指導士が筋力アップ体操や認知症予防体操などを行います。

▶CHECK 02 元気づくり運動教室

お近くの公会所などで軽運動やストレッチ体操などを行っています。

▶CHECK 03 みんなの運動サロン

運動が苦手な方でもできる運動を地域のサポーターがお教えします。

敬老の日に合わせて長寿を祝う 100歳を祝う



今年度、100歳を迎えられた諸岡三四子さんを町長が表敬訪問し、長寿を祝いました。諸岡さんは現在も毎日、自宅近くの畑を訪れています。町長から長寿の秘訣を問われると、「畑の世話をしていると身体も丈夫になって、健康になります。私が畑にいただけで周りの皆さんにも喜んでもらえます」と話しました。今年度は町内で14名の方が100歳を迎えられました。



利用者の声 ●
User's voice
まつ おてつ や
松尾徹也さん
(竹成区)
age 69

最近、家族の指摘などから自分の運転を危険だと感じ、免許返納を考え始めました。ですが、持病もあって2週間に1度は病院に通わなければいけないことや、近くに買い物ができるお店もなく、移動手段として車がなくなれることを心配していました。そこで、免許返納後のことを考え、町内の公共交通を試しに利用してみています。通院や買い物に公共交通を利用して、今のうちから勉強しています。



利用者の声 ●
User's voice
ささぎ ひでとし
笹崎豪俊さん
(大羽根園区)
age 74

71歳のときに自家用車を手放し、現在の主な移動手段はのりあいタクシーで、非常に良い制度だと感じています。すぐに出かけるにはやや不便ですが、妻と私で週に3〜4回、利用時間の最短30分前に予約し、通院や買い物などに利用しています。私自身はスマートフォンではないので、外出先では妻に予約を手伝ってもらっていますが、どこからでも予約できる「おでかけこもの」も便利に感じています。

ただ、便利な公共交通機関で生み出す「地域の環」。皆さんが年齢を重ねたとき、その力が循環する波となって、皆さん自身の生活に役立つときがきます。そのため、活用できる余力が少しでもあるならば、有効利用してみたいかがでしょうか。

地域の環 Community welfare cycle

誰にとっても欠かすことが
できない移動手段としての乗り物
地域で公共交通という
移動手段を存続させてゆく

利用者0ならば存続できない

ただ、便利な公共交通機関で生み出す「地域の環」。皆さんが年齢を重ねたとき、その力が循環する波となって、皆さん自身の生活に役立つときがきます。そのため、活用できる余力が少しでもあるならば、有効利用してみたいかがでしょうか。

田園の中を走るのりあいタクシー。年々、拡充を重ね、現在3台の車両が町内を走っています。

● サポーターの声
Supporter's voice
(有)尾高
わだ しょういち
和田庄一さん



のりあいタクシーの利用者は、免許を返納された方も多く、スマートフォンで予約を行う方が増えています。目的地まで寄り道することなく向かえるため、時間もかからず喜んでもらっています。また、乗り合いとなった場合も利用者同士で「おでかけこもの」の使い方を車内で共有したりして、コミュニケーションの場として有効活用してもらっている側面もあります。

INFORMATION 05

地域直結 公共交通DATA

NORIAI TAXI
のりあいタクシー >>>

運行区間 町内各乗降場所

運行事業者 町が(有)尾高に委託

利用料金 65歳以上 100円
(同一エリア内、web 予約時)

※乗降場所のエリアによって金額変動



COMMUNITY BUS
コミュニティバス >>>

運行区間 町内7路線

運行事業者 町が三重交通(株)に委託

利用料金 65歳以上 100円



①高齢者でもワンステップで乗り込める新型コミュニティバス②65歳以上の方は100円で移動できるため利用者も多いです

たいところへ行ける。これは例え、高齢になって自家用車がなくなっても生活に欠かさないニーズに応えたいときに

るために菰野町では地域公共交通会議で検討を重ねて公共交通の存続を図り、地域で高齢者の便利な足を欠かすことがないよう支えています。



▲町内の至るところに設置された乗降場所から目的地の乗降場所まで移動することができるのりあいタクシー

▼運転手や乗り合わせた方と何気ない会話ができることも自家用車の移動では得られないコミュニケーションのひとつ



行きたいときに
行きたいところに行ける
そんな地域の足を
地域で支える

自家用車のない生活に備えて

地域に直結した公共交通機関

年 齢を重ねれば、身体能力や反射神経が衰え、自らの運転に不安を覚えるときがやってきます。そのとき、自家用車で移動できなくなり、自家用車のない生活を送らなければなりません。菰野町は、東西方向に13歳、南北方向に10歳のほぼ四角形に近い形をしており、町内、町外への移動には乗り物が欠かせません。また、町南部に駅や役場本庁、菰野厚生病院、商業施設などが集中していることから、地域によっては自家用車がないと不自由に感じる場面も多いかもしれません。

年齢を重ねて自家用車を運転できなくなったとき、どうやって目的地まで移動しますか？そんな誰しもが抱える可能性がある困りごとを地域密着の公共交通が解決します。

町 内の公共交通機関には、のりあいタクシー、尾高タクシー、コミュニティバス、三重交通バス、近鉄湯の山線などがあります。中でも「のりあいタクシー」と「コミュニティバス」は、菰野町と(有)尾高、三重交通が連携して運営する地域に直結した地域公共交通サービスです。

「のりあいタクシー」は、利用には予約が必要ですが、バスの少ない時間帯や最寄りのバス停がない方には特に便利な乗り物です。町内には現在266か所の乗降場所があり、皆さんのご自宅の近くにも乗降場所があると思います。コミュニティバスや近鉄湯の山線と組み合わせ活用すれば、さらに移動範囲を広げることができ、高齢者の便利な足となります。行きたいときに

8月 総勢 40 人の生徒が代表して各大会に挑む
15日 全国大会出場選手の激励会



▲全国大会に出場した菰野中学校各部の代表者と町長、教育長

全国中学校体育大会 2022 に出場する選手の激励会を役場本庁で開催しました。全国大会には菰野中学校のテニス部男子、ハンドボール部男子・女子、柔道部男子個人がそれぞれ各地の大会に出場しました。激励会では、出場選手を代表して各部の主将と副主将が出席し、テニス部主将の松田健太郎さん（3年）が、「チーム一丸となって1回戦突破を目指したい」、ハンドボール部男子主将の中川凌仙さん（3年）が「支えてくれた皆さんに感謝し、悔いのないように精一杯頑張りたい」、ハンドボール部女子主将の森田真帆さん（3年）が「保護者の皆さんや先生らに恩返しができるよう頑張りたい」、柔道部主将の萩 楓真さん（3年）が「三重県代表として恥じることがない戦いをしたい」と大会への決意を語りました。

全国大会出場選手

菰野中学校

【テニス部男子】

伊藤劉星 松田健太郎 田島七星 吉川敦喜
池本大倭 高橋勇真 山口順也 入江志音
池本雄哉 八島寿利安

【ハンドボール部男子】

中川凌仙 安藤颯詩郎 青山 准 水谷日海
森 拓海 石川颯祐 伊藤遼也 内山瑠巴
山口勝輝 小方凱翔 出口 宙 川島我道
位田大地 長谷川雄飛 伊藤隼人

【ハンドボール部女子】

森田真帆 山喜多美咲 福田ミコ 一原知都世
金津佑実 山口凜奈 梅枝佑菜 酒井琴菜
内田夏羽 伊藤桃花 西 愛優美 谷 杏莉
花城光理 近藤瑠奈

【柔道男子個人】

萩 楓真

敬称略

7月 夏ならではの各種マリンスポーツを体験
中 マリンスポーツ体験会を開催



▲カヌーやSUPに乗って軽快に水の上を進む参加者たち

カヌーやOP（オプティミスト）ヨット、SUP（スタンドアップパドルボード）などが体験できるマリンスポーツ体験会、カヌー教室、SUP 教室を B&G 海洋センター艇庫で開催しました。参加した子どもや保護者の皆さんは、それぞれ思い思いのマリンスポーツを選び、操船技術を学びながら夏ならではのアクティビティを楽しんでいました。

7月 8月3日から2日間の日程で広島を訪問
27日 広島訪問壮行会を開催



▲壮行会での記念撮影

平和の尊さを学ぶために広島を訪問する菰野中学校と八風中学校の生徒 10 人の壮行会を役場本庁で開催しました。訪問団を代表して清水柊花さん（菰野中3年）は「広島で見たこと、聞いたことを伝えて平和について皆さんと考えていきたい」と決意を述べました。また、8月7日から16日までの間、図書館1階ギャラリーで平和祈念展として原子爆弾の悲惨さなどを紹介したパネルなどを展示しました。



7月 夏の夜にフラメンコの熱演
30日 サマーフラメンコを開催



▲さまざまな舞台上で活躍するトップダンサーと歌い手の皆さん

サマーフラメンコを町民センターホールで開催しました。夏のスペイン日帰り旅行と題して行った今回の公演では、キッズダンサーも参加してのファミリー公演となった第1部、日本や世界で活躍するダンサーの皆さんが集結し、圧巻の競演が繰り広げられました。第2部と、2つの公演が行われました。熱気に包まれた会場では、激しいリズムと華麗なステップに観客は魅了されていました。

圧巻のステップで観客を魅了した世界的ダンサーの永田 健さん▶



8月 東海ブロックを代表して熊本県へ
5日 菰野朝上リトルシニアが訪問



▲役場本庁を訪れた菰野朝上リトルシニアの皆さんと町長

西日本選手権野球大会に東海ブロック代表として出場する菰野朝上リトルシニアが町長を訪問しました。町長から目標について問われると、主将の前川大和さん（菰野中3年）は「1つ勝つことも大変だと思いますが、ベスト4を目指したい」と答え、町長は「ぜひ2回勝ってベスト4を目指してください。健闘を祈ります」と激励しました。

8月 大学の知識と町の資源を連携
10日 四日市大学と協定締結



▲協定書へ署名した岩崎恭典学長（写真右）と町長

四日市大学と菰野町との包括連携に関する協定締結式が役場本庁で行われました。この協定は、四日市大学と菰野町が包括的に連携と協力を図り、地域を担う人材の育成と地域社会の発展を目的として締結したものです。町では今回の協定締結を契機に、10月から四日市大学の教授を迎えて「社会教育カレッジ」と題した以下の講演会を開催する予定です。

第1回	「まちの羅針盤＝総合計画」
第2回	「新型コロナウイルス感染症とまちづくり」
第3回	「多様性を認め合う社会とLGBT」

※講演会の日時等はおしらせ版等で改めてお伝えします。

8月 海星中学校軟式野球部が東海地区で3位に
15日 野球で全国大会出場



▲全国大会での活躍を誓った森田さん（写真左）と町長

第44回全国中学校軟式野球大会に出場する森田大喜さん（海星中3年、大羽根園）が町長を訪問しました。町長から抱負を問われると、森田さんは「一打席に集中し、チャンスで1本出せるようにプレーしたい」と答え、町長は「まずは一勝、そしてその先へ進んでもらいたい」と激励しました。

秋の全国交通安全運動

事故にあわない、起こさない

運動期間 9/21 (WED) ~ 9/30 (FRI)
秋になると日没時間が早まり、夕暮れ時間帯の交通事故が増加する傾向にあります。
9月30日は「交通事故死ゼロを目指す日」

FOCUS POINT 01 子どもと高齢者をはじめとする歩行者の安全確保

歩行者も交通ルールを守ろう！反射材を活用しよう！

FOCUS POINT 02 夕暮れ時と夜間の歩行者事故等の防止と飲酒運転の根絶

夕暮れ時は早めのライト点灯！酒を飲んだら運転しない、させない！

FOCUS POINT 03 自転車の交通ルール遵守の徹底

大人も子どももヘルメット着用！スマホ・イヤホンのながら運転禁止

横断歩道
ハンドサイン
で意思表示

HAND SIGN CAMPAIGN

ハンドサインキャンペーン

歩行者が横断歩道を横断する際に、自らを守るための行動として「ハンドサイン」があります。歩行者が安全安心に横断歩道を利用できるよう皆さんで「ハンドサイン」を実践しましょう。

CHECK

- ▶手を上げる
- ▶運転者に顔を向ける
- ▶安全を確認して横断
- ▶横断中も気をつける

家庭で備える

地震対策

台風や大雨による風水害とともに、この地方でも発生が予想されている大地震。そんな大災害が発生したとき、あなたは自分の身を守れますか、生活できますか。今月号では、もしものときの行動やご家庭でできる対策についてお伝えします。

未曾有の大災害に備えて

南海トラフ地震は、発生すればマグニチュード8〜9クラスのエネルギーを伴い、未曾有の大災害になると予想されています。南海トラフ地震のような大地震が発生したとき、まずは自分の身を守ることが不可欠に

南海トラフ地震 発生確率
M8〜9クラス

10年以内 > 30%程度

30年以内 > 70%〜80%程度

50年以内 > 90%程度

令和4年1月1日現在

災害時持出品リスト

- | | | |
|-----|--|--|
| 食料 | ☐ 飲料水 | ☐ 非常食 |
| | ※1人あたり3日分以上の備蓄を推奨 | |
| 貴重品 | ☐ 現金 | ☐ 車や家の鍵 ☐ 印鑑 |
| | ☐ 銀行の通帳やカード | ☐ 健康保険証・免許証など |
| | ☐ 携帯電話（スマートフォン） | ☐ ラジオ（充電器・電池含む） |
| 情報 | ☐ 筆記用具 | |
| | ☐ 筆やブザー | ☐ ビニール袋 |
| その他 | ☐ 常備薬・持病薬 | ☐ 懐中電灯 |
| | ☐ 雨具 | ☐ タオル・着替え |
| | ☐ マスク | ☐ ティッシュ |

- 感染症対策**
- ☐ ウエットティッシュ
 - ☐ 消毒用品 ☐ 体温計 ☐ 紙コップ
 - ☐ ハンドソープ ☐ ゴミ袋
- ※状況に応じて必要な物を追加してください。

三重県防災ガイドブック

令和4年3月に改訂された「三重県防災ガイドブック」では、県内の各種データや大災害が発生したときの対処法などについてさらに詳しく解説しています。

なっています。そして、発生後の生活や長期間の避難生活に備えて、非常持ち出し品を確保しておくことや避難経路を確認しておくことも大切です。まずは、各家庭でもしものときに備えて、しっかりと準備しておきましょう。



家族で事前に避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

SHAKE OUT

3つの安全確保行動
Three safety actions



シェイクアウトでは、「まず低く、頭を守り、動かない」といった安全確保行動を実践します。

知っていますか？

シェイクアウト

地震による死傷例の中では、避難しようとして移動し、ケガをする例が最も多く、移動距離を最小限に留めることも重要です。地震がくる前に一度周りを見渡し、家、職場、学校などの屋内でどこが安全かを確認しておいてください。そして、室内で地震が発生した場合は、その場で「シェイクアウト」と呼ばれる3つの安全確保行動を行ってください。

皆さんお元気ですか。菰野町長 柴田孝之です。今日は、SNS風に思ったこと感じたことを紹介したいと思います。

最近、庁舎周辺の草取りを頑張っています。これは、鈴鹿山麓かもしかハーフマラソンを走るのに体を鍛えよう。ただ、ランニングだけでなく、草取りを全力でした方が庁舎がきれいになって来庁者に気分よくなってもええ一石二鳥になる、ということださせていたたいております。体重が4割減り、とても元氣はつらつになりました。今年100歳を迎えられた方、毎日畑仕事をされているとか。そのおかげで、正直80歳ぐらいにしか見えない、お若い様子でした。土いじりは侮れません。

もう一つ、世の中には、「してもしなくてもよい」と考えられているが、本当はしなければならぬということがあると感じて

Theme 42 最近思ったこと、感じたこと

もう一つはスマートフォンです。これは、現代の読み書きそろばんです。新しく読み書きができるようになるのが大変なようにスマートフォンは操作は大変です。しかし、いつまでも住みよい町を維持するには、皆さんに自分の名前や住所の読み書き、計算ができることと同じように苦勞をしても、コンピューターの操作に挑戦してほしいと感じています。

町長のひとり語

The Story of our Mayor



います。

一つは、地域での助け合い、ボランティアです。自分の利益になること以外は、してもなくてもよいと思う人が多いのですが、例えばカフェテリアで、水や食べ物を運んでこい、片付けてくれということはありません。お客さんが食べ物を取りに行ったり、片付けたり、店に協力することによって安価でおいしいものが食べられるのです。

第102回 郷土史・風俗 廣幡神社の造営

寛永7年（1630年）8月に土方家の藩祖である土方雄氏が、石清水八幡宮を勧請し、土方氏の鎮守として廣幡の地に社殿を造営しました。祭神は応神天皇で、当時は廣幡八幡宮と呼んでいました。明治4年（1871年）、廃藩置県の際に「菰野藩」は「菰野県」に変わり、社内に記念碑が建てられました。神社前にある金溪川堤防には藩祖雄氏の夫人、八重姫が家臣に命じて桜や楓などを植樹させ、領民の憩いの場をつくったと伝えられています。明治4年の藤の木の諏訪神社に始まり、明治43年（1910年）2月15日の倭文神社まで、菰野村内の神社を合祀していきました。



▲廣幡神社の御神木として植えられていた楓に手を合わせる子ども

写真撮影▶八幡浩司さん
(町芸術文化協会写真部会 中菰野)

DATA 7月のデータ

	件数	1月からの累計
火災発生	0	8
救急車出動	178	995
交通事故	17	87
急病	130	687
一般負傷	22	165
その他	9	56
救助出動	4	32
交通事故	98	628
物損事故	95	589
人身事故	3	39
死者	0	0
傷者	3	43
	数	増減
総人口	41,396人	－33人
男	20,480人	－12人
女	20,916人	－21人
総世帯数	17,107世帯	＋3世帯

三羽鳥に子有り孫あり新しき
友もあれども続く友情
あじさいの葉のうすさほどのわが一生
笑って生きな喜び生きな

涼風とかえるの声に迎えられ
梅雨のあいまの犬との散歩
しとしと降りに雨の日は人形の
着物ぬいくれし妣を憶いぬ

梅雨寒の昨日のことは嘘のごと
空の青さよ今日は夏日に
咲き終わり次の花が上がる迄
ダリアは葉ばかり繁らせている

内田すえの
花木みち子
平林和江
増田陽出美
豊田真智子
尾崎久美子

青春を手繰る一日やソーダ水
【評】ソーダ水は爽やかで明るいイメージの季語である。だから青春時代やカップルを題材にした句でよく詠まれる。掲載句もソーダ水を飲みながら青春時代のよい思い出に浸っている。

夏空へ声掻き回すチアガール
お磨きの休憩御堂蟬時雨
祇園会や稚子一刀に綱を断つ
炎熱や風鐸が揺る本能寺
ラベンダー干して香の立つ香袋
朝顔や無人駅にも並ぶ鉢
夏の陽に負けぬ音立て草刈機
心あり作りし人の風鈴の音
枇杷食べる果汁あふれる口の中

城明子
館千恵子
吉原巴
伊与久紀美子
吉田勝博
馬場富子
小川明子
内田貞子
磯野洋子
岩田可代子

短歌

清流短歌教室 三原香代 選

俳句

けやき俳句講座 石井いさお 選

9月

図書館カレンダー

CALENDAR

1 木	「健康図書」 展示 ▶9月25日まで
2 金	
3 土	
4 日	
5 月 休館日	
6 火	「消防救急ポスター コンクール作品展示」 ▶9月3日から9月8日まで
7 水	
8 木	
9 金	
10 土	14:00～ 楽しいおはなし会
11 日	「手作り民話絵本 コンクール作品展示」 ▶9月10日から9月11日まで
12 月 休館日	
13 火	
14 水	「郵便局貯金箱 コンクール作品展示」 ▶9月13日から9月19日まで
15 木	
16 金	10:00～ ブックコート体験会
17 土	11:00～ 朗読劇
18 日	
19 月	
20 火	
21 水	
22 木	15:30～ 英語のおはなし会
23 金	
24 土	13:30～ 民話がたり 14:00～ 楽しいおはなし会
25 日	
26 月 休館日	
27 火 休館日	
28 水	
29 木	「絵や写真で見る知識」 展示 ▶9月28日から
30 金	

※おはなし会やギャラリー展示は新型コロナウイルス感染症の影響により中止（延期）とする場合があります。

としょかん
月刊 いんぷお

菰野町図書館
開館時間
9:30 - 18:00
TEL 391-1400 FAX 394-4433 http://www.town.komono.mie.jp/library

LIBRARY
9月19日は祝日のため開館します

通常、月曜日は休館日ですが9月19日は祝日のため、開館します。皆様のご利用をお待ちしています。

展示
「健康図書」
▶9月25日まで

感染症の影響や夏バテのせいで、外に出たくない…運動不足になりがちなこの季節、健康になれそうな本を集めてみました。いろいろ試して自分に合う健康習慣を身につけてみませんか。

ブックコート体験会

▶9月16日 10:00～10:45
図書館の本を守っている透明フィルムをあなたの本にもかけてみませんか？

対象
18歳以上の方
定員
8名（先着順）
申込期間
9月1日▶9月15日

持ち物
ブックコートしたい本2冊まで（1辺30センチ以内の本）

参加費
無料

新着図書から

『すばらしき宇宙の図鑑』
▶野口聡一 / 著
▶KADOKAWA（440/ノ）
さまざまな「顔」を持つ宇宙。最新の宇宙服から天体事情、夜空に輝く星座まで、宇宙滞在時間344日超えの宇宙飛行士、野口聡一氏ができるだけ専門用語を使わずにわかりやすく、イラストや写真も使って解説しています。

『障害者ってだれのこと？』
▶荒井裕樹 / 著
▶平凡社（J369/ア）
「障がい者」とはだれのことか。「障がい」とは何か。わかるようでわからない問題を、いろいろなアプローチでそもそも論から考えています。障がい者差別についても取り上げて詳しく解説しています。

『ちいさいごみしゅうしゅうしゃ
ぱっくんはどこだ？』
▶薫くみこ / 作
▶オームラトモコ / 絵 ▶ひさかたチャイルド（E.オ）
ぱっくんは、小さなごみ収集車。出発しようとしたら、みーちゃんのママが、走ってごみを出しにきました。ところが、ごみ袋の中に、みーちゃんの大切なくまのぬいぐるみが入っていました。みーちゃんのために、ぱっくんを探そう。ゆかいでやさしい家族のおはなしです。



男女共同参画啓発
コンサート

プログラム

吹奏楽のための叙事詩
Jeanne
ジャンヌ・ダルク
d'Arc

昭和アイドルコレクション

「アラジン」より
ホール・ニュー・ワールド

ブロードウェイ・ミュージカル
ドリームガールズ ほか

10/9
SUN

開場 13:30 開演 14:00

会 場
荻野町 町民センターホール

出 演
三重 ユナイテッドウィンドオーケストラ

百年戦争末期、フランス軍を指揮した聖女「ジャンヌ・ダルク」
音楽を通じて男女分け隔てのない
社会の実現について考える秋のコンサート

全席指定

入場無料

- ▶入場には整理券が必要です。
- ▶整理券に住所、氏名、連絡先をご記入ください。

注意事項

- ▶1時間半程度の公演となります。
- ▶当日、体調が優れない方は、来場をご遠慮ください。
- ▶来場時はマスクを着用し、消毒、検温にご協力ください。
- ▶整理券がなくなった場合、当日の配付はありません。
- ▶未就学児も入場できますが、託児等はありません。
- ▶感染拡大状況により当公演が中止となる場合があります。

整理券配付開始

9/15
THU

役場本庁
3階 301
会議室

9:00~

問い合わせ

荻野町
企画情報課

TEL 391-1105
FAX 391-1188

主催 アイリスこもの・荻野町企画情報課

■荻野町電子メールアドレス keyaki@town.komono.mie.jp

*「広報こもの」は視覚障がいのある方(障害者手帳をお持ちの方)に「声の広報」をお届けしています。
ご希望の方は役場企画情報課(TEL 391-1105/FAX 391-1188)にお問い合わせください。

*当紙の内容を当町の許可なく、無断で転載することを禁止します。

広報こもの
No. 745

16